

商 団 連

第346号

平成30年7月1日

1部 50円

発行所
 全国卸商業団地協同組合連合会
 東京都港区赤坂5-1-31
 第6セイコービル4階(〒107-0052)
 電話 03-6807-4335
 編集発行人 平澤和人

第51回通常総会

例年通りホテルニューオータニで開催

商団連の平成30年度通常総会(第51回)が、さる6月25日(月)東京・紀尾井町のホテルニューオータニ「悠の間」において開催された。総会は、午後1時30分より開催され、司会者より、

会員100名(本人出席62名、委任状出席38名)の出席により、総会成立のための定足数である会員数の過半数を超えているため、本総会は有効に成立する旨宣せられ開会した。

はじめに福井会長より「商団連は昭和42年8月に設立され、昨年創立50周年を迎え、50周年記念式典も盛大に開催することができました。この50周年を一つの契機として、引き続き会

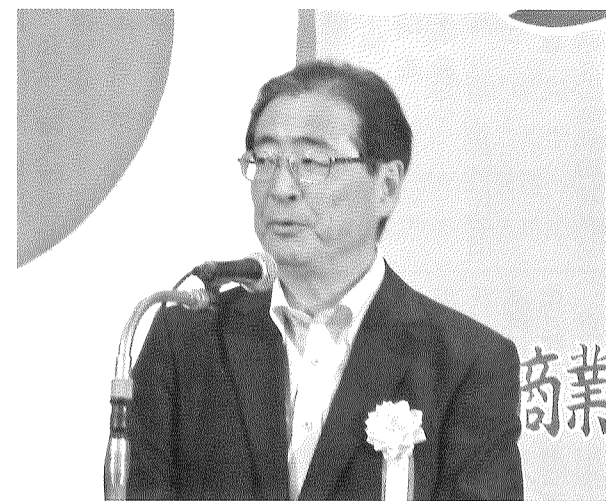
員の皆様との「絆」を一層強め、緊密な連携と情報交換・情報発信を大切に、卸商業団地の更なる発展さらには会員企業の成長へ向けての経営基盤の強化の経営力の強化のためにその

役割を果たして参りたい」と開会の挨拶が行われた。引き続きご臨席いただいたご来賓の方々よりご挨拶が行われた。

中小企業庁安藤久佳長官は「事業承継税制については、宮沢税調会長のお力により大きな改善策を講じることができました。他方、人手不足の問題、働き方改革等の課題もありますが、人手不足をうまく反転させ生産性を変えるチャンスにしたい。また、今年も中小企業白書、小規模事業白書を取りまとめたが、今回は中身を交え事例集とした。中小企業の経営者の方々のヒントになるような事例を中心に13の事例をまとめたので参考にしてください。」と挨拶された。

独立行政法人中小企業基盤整備機構高田坦史理事長は「中小機構は生産性向上をキーワードに小規模企業共済、中小企業大学校等様々な事業に取り組んでおります。高度化事業についても、生産性向上に資する事業設備、施設のリニューアル等に利用でき、組合運営に関わるソフト面の支援も強化しており、他の支援策と併せてご利用頂きたい」と挨拶された。

株式会社商工組合中央金庫関根正裕代表取締役社長は「真に中小企業のお役に立つ持続可能なビジネスモデルの策定・実行や取締役



中小企業庁長官 安藤久佳氏



商団連会長 福井 弘氏



商工中金社長 関根正裕氏



中小機構理事長 高田坦史氏

ご来賓の挨拶の後、福井会長を議長に選出し、議案審議に入った。

第1号議案「平成29年度事業報告・財産目録・貸借対照表・損益計算書並びに剰余金処分(案)」について承認を求めた。

栗原専務理事より原案の説明が行われたのち、桑原功監事(協秋田卸センター)より、平成29年度決算関係書類及び業務について監査した結果、財産管理・収支の処理・予算の執行・業務についていずれも妥当と認められる旨報告があり、審議の結果、全員異議なく原案どおり承認された。

第2号議案「平成30年度事業計画(案)・収支予算(案)」について承認を求めた。第3号議案「平成30年度経費の賦課金徴収(案)」について承認を求めた。第4号議案「役員報酬決定の件」、第5号議案「借入金残高の最高限度額の承認を求めたの4議案が一括上程され、栗原専務理事がそれぞれの内容を説明し、審議された結果、いずれも原案どおり承認された。

続いて、第6号議案「理事・監事任期満了につき選任の件」については、議長が選考方法を議場に諮ったところ満場一致で承認された。

そのあと、新役員による理事会が開催され、会長

この満場一致で選考委員による指名推薦の方法で行うことになり、北海道ブロック守和彦(協札幌総合卸センター)、東北ブロック田中善一(協仙台卸商センター)、関東ブロック夏目潔(協長野アークス)、中部ブロック滝幹夫(協一宮織維卸センター)、近畿ブロック吉木学(協大阪セイシテイ)、中国ブロック小椋徹範(協津山卸センター)、四国ブロック町田 貴(高知卸商センター)、九州ブロック小正芳史(鹿児島総合卸商業団地協)、連合会等員外監事「栗原 眞(全国卸商業団地協同組合連合会)」の9名が選考委員に選ばれ、別室において選考委員会が開かれ、小正芳史選考委員長から委任を受け平澤事務局長が選考結果を報告した。議長が選考結果について議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

最後に、事務局より「準会員規程」に基づく新規準会員となった諏訪商業協の紹介が行われ、議案審議は終了した。

引き続き、平成29年度商団連グループ保険の加入促進運動において福祉共済事業の発展に大きく貢献された協山梨梨泉流通センター、協富山問屋センター、協ベイトウン尾道、佐世保卸団地協に対して感謝状が贈呈された。また、今回の役員改選において退任される八頭司理事(協福岡卸センター)、桑原監事(協秋田卸センター)、石田監事(千葉総合卸商業団地協)にそれぞれ感謝状が贈呈され、常総会は終了した。

新役員は以下の通り。

会長 福井 弘(協ベイトウン尾道)

副会長 田中 善一(協仙台卸商センター)

副会長、専務理事の選任が行われた。

最後に、事務局より「準会員規程」に基づく新規準会員となった諏訪商業協の紹介が行われ、議案審議は終了した。

引き続き、平成29年度商団連グループ保険の加入促進運動において福祉共済事業の発展に大きく貢献された協山梨梨泉流通センター、協富山問屋センター、協ベイトウン尾道、佐世保卸団地協に対して感謝状が贈呈された。また、今回の役員改選において退任される八頭司理事(協福岡卸センター)、桑原監事(協秋田卸センター)、石田監事(千葉総合卸商業団地協)にそれぞれ感謝状が贈呈され、常総会は終了した。

新役員は以下の通り。

会長 福井 弘(協ベイトウン尾道)

副会長 田中 善一(協仙台卸商センター)



諏訪商業(協) 奥原賢一理事長(中央)



講師 吉田雅彦氏

- 夏目 潔（協長野アークス）
滝 幹夫（協一宮織卸センター）
吉本 学（協新大阪センター）
小正 芳史（鹿児島総合卸商業団地協）
神戸 厚（商団連）
専務理事 栗原 眞（商団連）
理事 守 和彦（協札幌総合卸センター）
橋本 昭一（協八戸総合卸センター）
藤村 文昭（協盛岡卸センター）
吉濱 達三（高崎卸商社街協）
小谷野 和博（協川越バンテアン）
清 康夫（小田原卸商業団地協）
栗山 直樹（協山梨泉流通センター）
中村 泰平（協浜松卸商センター）
高桑 幸一（協金沢問屋センター）
俣野 富美雄（大阪船場織
- 維卸商団地協）（新任）
林 弘之（協大阪紙文具流通センター）
松本 啓（協米子総合卸センター）
米原 健二（協松江卸センター）
小 椋 徹範（協津山卸センター）
町田 貴（高知卸商センター協）
百田 篤（協福岡卸センター）（新任）
橋高 克和（佐世保卸商地協）
監事 辻 昭久（協秋田卸センター）（新任）
飯ヶ谷岐美夫（船橋総合卸商業団地協）（新任）
猪瀬 安次（オーエスピジネス株）
（会名簿順に記載）
前相談役理事であった尾池良行氏には引き続き相談役に就任していただいた。



中小企業庁次長 吉野恭司氏

講演会

講演会 講師 吉田 雅彦氏
演題 地方の創生・活性化／卸団地の役割

通常総会終了後、午後3時より、宮崎大学地域資源創成学部学部長吉田 雅彦氏による講演会が行われた。演題は「地方の創生・活性化／卸団地の役割」でした。吉田教授は、中小企業庁におられたときは取引流通課の課長補佐として、また、中小機構におられたときは高度化担当理事として、商団連にとっても非常に係わりが深い教授です。吉田雅彦氏は、「卸団地、卸売業は、地域で一定の勢力をもっており、地域に中央の情報をもたらすポジションが多く、地元根ざして各方面に顔が広い経営者が多い。親子、親戚で継ぎ、地方に長期に関わる人が多い。卸団地、卸売業が地域に収入と雇用をもたらす、効果的な地方創生の中核的役割を果たす。地方創生の成功のためには少なくとも10年は努力を継続する必要がある。」と述べられた。

懇親会

講演会終了後、会場を「翔の間」に移し、懇親パーティーが行われた。福井会長の開宴挨拶の後、中小企業庁次長の吉野恭司氏よりご挨拶をいただいた。全国卸商業団地対策議員懇話会の会長で、衆議院議員である細田博之先生は欠席であったが、細田先生より祝電がきており披露され、その後、全国中小企業団体中央会専務理事高橋晴樹氏のご発声により乾杯が行われた。

講演会終了後、会場を「翔の間」に移し、懇親パーティーが行われた。福井会長の開宴挨拶の後、中小企業庁次長の吉野恭司氏よりご挨拶をいただいた。全国卸商業団地対策議員懇話会の会長で、衆議院議員である細田博之先生は欠席であったが、細田先生より祝電がきており披露され、その後、全国中小企業団体中央会専務理事高橋晴樹氏のご発声により乾杯が行われた。

組合代表者、事務局担当者の変更

会員組合の平成30年度通常総会が終了し、理事長及び事務局に一部変更がありました。変更は左記の通りです。

（理事長の交代）

組合名	前理事長	新理事長	会社名
協米沢総合卸売センター	佐野 雅 英	前山 健 二	東北物流株
協福島卸商団地	舟山 昭 三	大内 弘 之	第一温調工業株
大阪南港鉄鋼流通協	岡田 実	濱野 達	大同鐵鋼株
協神戸船用品センター	島田 善 通	三木 啓 司	株三木電機商会
下関問屋センター協	夏川 敬 三	弘永 裕 紀	コーエー株
協柳井総合卸センター	西海 俊 夫	河野 和 明	カワノ工業株
協徳島総合流通センター	青木 秀 夫	美馬 秀 夫	美馬商事株
協福岡卸センター	八頭司 正 典	百田 篤	株百田工務店
沖縄県卸商業団地協	赤嶺 克 己	池原 一 則	株池原商事

（事務局の交代）

組合名	前担当者	新担当者
協米沢総合卸売センター	奥村 政秋 理事・事務局長	本宮 俊夫 理事・事務局長
宇都宮卸商業団地協	神永 哲 専務理事	櫻岡 一男 専務理事
所沢卸商業協	松浦 一成 事務局長	半田 孝 事務局長
協松阪卸センター	堀田 伸治 常務理事	橋本 明典 理事・事務局長
協松江流通センター	小村 幹夫 専務理事	伊藤 浩 専務理事
協呉食料品卸センター	越智 和幸 事務局長	松本 伸一郎 事務局長

（役職の変更）

組合名	担当者	新役職
協八戸流通センター	上 澤 滋 男	専務理事
南東北総合卸センター協	円 谷 達 也	常務理事
協柳井総合卸センター	西海 俊 夫	理事・事務局長

（注）当連合会が確認できた分だけを掲載しています。

- 連の小正 芳史副会長（鹿児島総合卸商業団地協理事長）に締めたいいただいた。当日の主な来賓は次のとおりです。（敬称略）
- ▽全国卸商業団地対策議員懇話会
衆議院議員（本人出席）津島 淳、田所嘉徳、福田 達夫、小淵優子、尾身朝子、牧島かれん、盛山正仁、逢沢 一郎、小島敏文、塩崎恭久、広田 一
- 参議院議員（本人出席）滝波宏文、舞立昇治
衆議院議員（代理）鈴木俊一、亀岡偉民、中曾 根康隆、神山佐市、黄川田 仁志、松本純、堀内詔子、塩野立、江崎鐵磨、原田憲治、石破 茂、赤澤亮正、小林 史明、岸田文雄、鬼木誠、金子万寿夫
- 参議院議員（代理）高田坦史（理事長）、小淵 良男（理事）、斎藤三（高度化事業部長）、押田誠一郎（高度化事業企画課長）、河井 豊（高度化事業部参事）、沢田太志（高度化事業推進課長）、占部治（関東本部長）
- ▽中小企業庁 安藤久佳（長官）、吉野恭司（次長）、高島竜祐（経営支援部長）、小島暢夫（商業課長）、久田周士（商業課課長補佐）、星彰（商業課課長補佐）、高橋達也（商業課課長補佐）
- ▽中小企業基盤整備機構 高田坦史（理事長）、小淵 良男（理事）、斎藤三（高度化事業部長）、押田誠一郎（高度化事業企画課長）、河井 豊（高度化事業部参事）、沢田太志（高度化事業推進課長）、占部治（関東本部長）
- ▽商工中金 関根正裕（社長）、梅田晃士郎（副社長）、小野木哲也（常務）、山口 卓郎（総務部長）、黒澤秀一（人事部長）、佐々木涉（リユース・リサイクル事業部長）、萩尾太（経営サポート部長）、木戸昌己（融資第二部長）、小山君一（融資第二部上席 審査役）
- ▽住友生命 米林裕（常務 執行役員）
- ▽東京経済大学 宮下正房（名誉教授）
- ▽全国卸商業団地企業年金基金 上原尚（常務理事）

〈平成29年度 第2回〉事務局長会議開催

平成29年度第2回事務局長会が3月2日(金)、東京都港区のメルパルク東京において開催された。

当日は、北は北海道、南は九州の全国から66団地67名とご来賓合わせて82名が出席した。

はじめに葛永代表世話人(協)ベイトウン尾道)の挨拶、今回初めて出席された方を紹介し、全員協議会が行われた。全員協議会の審議内容は、平成29年度事業及び収支中間報告、平成30年度事業計画(案)並びに収支予算(案)、平成30年度会費徴収(案)が審議されいづれも原案どおり承認された。その後、商団連事務局長会世話人及び監事の改選が行われた。新世話人及び監事は以下の通りとなった。



事務局長会

- 〔世話人〕
- ▽北海道地区 協札幌総合卸センター 多田 幸治 事務局長
 - ▽東北地区 協青森総合卸センター 藤本 和夫 専務理事
 - 協仙台卸センター 武田 要二 専務理事
 - ▽関東地区 協東京・マルシェ 湧川 勝巳 専務理事
 - 協能谷流通センター 及川 亨 専務理事
 - 船橋総合卸商業団地協 金子 英昌 事務局長
 - ▽中部地区 協福井問屋センター 福岡敬義 事務局長
 - 協津卸商業センター 稲森 三也 専務理事
 - ▽近畿地区 阪神総合卸商業団地協 並河 俊夫 専務理事

- 協大阪紙文具流通センター 名和 秀記 専務理事
- ▽中国地区 協鳥取卸センター 山崎 善壽 事務局長
- 協ベイトウン尾道 葛永 英明 専務理事
- ▽四国地区 協徳島総合流通センター 藤原 公 専務理事
- ▽九州地区 協長崎卸センター 笠瀬 伸一郎 専務理事
- 鹿児島総合卸商業団地協 二宮 敏彰 事務局長
- ▽連合会 全国卸商業団地協同組合連合会 栗原 眞 専務理事
- 全国卸商業団地協同組合連合会 平澤 和人 事務局長
- 〔監事〕 高崎卸商社(協) 相田 淳 専務理事
- 協長野アークス 竹前 義孝 専務理事
- 〔顧問〕 全国卸商業団地協同組合連合会 神戸 厚 副会長

寺田室長より商団連グループ保険の加入促進について説明が行われた。

その後団地内物件等の不動産鑑定評価及び不動産調査について株式会社コスモシステムより説明が行われ、参加者から活発な質疑があった。

昼食を挟んで中小企業庁事業環境部財務課山本課長補佐より事業承継の集中支援について、全国中小企業団体中央会政策推進部丸山博志部長より中小企業活路開拓調査・実現化事業について説明が行われた。

その後各団地の取り組み事例として6団地より説明が行われた。

- 〔中小企業庁〕 山本 聡一(事業環境部財務課長補佐)
- 星 彰(経営支援部商業課長補佐)
- 〔独立行政法人中小企業基盤整備機構〕 齊藤 三(高度化事業部長)
- 河井 豊(高度化事業部参事)
- 〔全国中小企業団体中央会〕 丸山 博志(政策推進部長)
- 〔株式会社商工組合中央金庫〕 小山 君一(本店審査第二部) 君一(本店審査第二部) 君一(本店審査第二部) 君一(本店審査第二部)
- 〔住友生命保険相互会社〕 寺田 学(総合型基金営業室室長)
- 〔株式会社コスモシステム〕 山野井 一章(常務取締役)
- 廣瀬 公三(業務本部長)
- 榎本 康夫(顧問)
- 齊藤 三(高度化事業部長)
- 沢田 太志(高度化推進課長)
- 佐藤 勉(関東本部長)
- 小野木 哲也(執行役員・審査第一部長)
- 萩尾 太(審査第二部長)
- 小山 君一(審査第二部) 君一(審査第二部) 君一(審査第二部) 君一(審査第二部)
- 〔全国中小企業団体中央会〕 高橋 晴樹(専務理事)
- 丸山 博志(政策推進部長)
- 〔東京経済大学〕 宮下 正房(名誉教授)
- 〔全国卸商業団地企業年金基金〕 橋高 克和(理事長)
- 〔住友生命保険相互会社〕 荒木 登志松(執行役常務)
- 〔全国卸商業団地対策議員懇話会〕 細田 博之(盛山 正仁)
- 逢沢 一郎(広田 一)
- 衆議院議員(代理) 津島 淳、鈴木 俊一、亀岡 偉民、田所 嘉徳、福田 達夫、小淵優子、神山 佐市、黄川田 仁志、牧島 かれん、松本 純、堀内 詔子、上川 陽子、江崎 鐵磨、田村 憲久、原田 憲治、石破 茂、赤澤 亮正、小島 敏文、小林 史明、岸田 文雄、塩崎 恭久、井上 貴博、鬼木 誠、新谷 正義
- 参議院議員(代理) 中曾根 弘文、山本 一太、太田 房江、舞立 昇治、石井 正弘

平成30年 賀詞交歓会開催



商団連会長 福井 弘氏



衆議院議員 細田博之氏

再整備の進捗状況について

当日の主な来賓出席者は、次のとおり(敬省略)

〔中小企業庁〕 山本 聡一(事業環境部財務課長補佐)

はじめに福井会長より年頭の挨拶が行われた。会長は、「商団連としては、商団連グループ全体で魅力と活力のある卸商業団地の創生に向けて取り組んでいきたい」と挨拶された。

続いて、全国卸商業団地対策議員懇話会の会長である衆議院議員の細田博之先生より「アベノミクスが地方の中小企業の皆様にも浸透し景気が良くなっている。更なる景気拡大に繋がって欲しい。商団連も50周年を迎え、皆様と共に我々も工夫を凝らして更なる発展に期待したい」とのご挨拶をいただいた。

引き続き中小企業庁長官安藤久佳様より「今回の税制改正で事業承継税制が拡充された。事業承継は金融機関、税理士を含めた総合

戦略が必要である。皆様にご利用頂けるようしっかりと行っていききたい」とご挨拶された。

その後、独立行政法人中小企業基盤整備機構理事小淵良男様より「国内外の変化の激しい先行き不透明な時代である。商団連はこの変化をチャンスとして捉え福井会長のリーダーシップの下、会員組合及び組合員企業が一致団結して協同の力を発揮しこの難題を打開していただきたい。また、より一層商団連との関係強化を深めていきたい」と

当日の主な来賓出席者は、次のとおり(敬省略)

〔中小企業庁〕 安藤 久佳(長官)

吉野 恭司(次長)

高島 竜祐(経営支援部長)

岩木 権次郎(商業課長)

星 彰(商業課長補佐)

〔独立行政法人中小企業基盤整備機構〕 小淵 良男(理事)

〔全国中小企業団体中央会〕 高橋 晴樹(専務理事)

丸山 博志(政策推進部長)

〔東京経済大学〕 宮下 正房(名誉教授)

〔全国卸商業団地企業年金基金〕 橋高 克和(理事長)

〔住友生命保険相互会社〕 荒木 登志松(執行役常務)

〔全国卸商業団地対策議員懇話会〕 細田 博之(盛山 正仁)

逢沢 一郎(広田 一)

衆議院議員(代理) 津島 淳、鈴木 俊一、亀岡 偉民、田所 嘉徳、福田 達夫、小淵優子、神山 佐市、黄川田 仁志、牧島 かれん、松本 純、堀内 詔子、上川 陽子、江崎 鐵磨、田村 憲久、原田 憲治、石破 茂、赤澤 亮正、小島 敏文、小林 史明、岸田 文雄、塩崎 恭久、井上 貴博、鬼木 誠、新谷 正義

参議院議員(代理) 中曾根 弘文、山本 一太、太田 房江、舞立 昇治、石井 正弘

商団連事務局からのお知らせ

「平成30年度第1回事務局長会」

開催日時：平成30年9月6日(木)～7日(金)
 開催場所：ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
 岩手県盛岡市盛岡駅前北通2-27 電話：019-625-1211
 視 察：中尊寺⇒浄土庭園(毛越寺)
 ゴ ル フ：メイプルカントリークラブ

「平成30年度ブロック会議」

日付	ブロック	幹事団地
H30. 9. 20(木)～21(金)	北海道ブロック	(協)北見総合卸センター
H30. 9. 27(木)～28(金)	関東ブロック	(協)横浜マーチャングアイジングセンター
H30. 10. 18(木)～19(金)	中・四国ブロック	(協)益田卸センター
H30. 10. 24(火)	近畿ブロック	大阪メルカート(協)
H30. 10. 25(木)～26(金)	中部ブロック	(協)一宮繊維卸センター
H30. 10. 29(月)～30(火)	九州ブロック	(協)福岡卸センター
H30. 11. 16(金)	東北ブロック	南東北総合卸センター(協)

「トップセミナー」

平成30年11月20日(火) 開催場所：KKR HOTEL TOKYO
 セミナー 13:00～16:30
 懇 親 会 16:40～18:00

「準会員」規程の整備

卸商業団地の新しい仲間の増強を図るために「準会員」規程を整備しました。

平成30年度 新規準会員

諏訪商業(協)

理 事 長 奥原 賢一

組合設立 昭和43年7月

団地完成 昭和48年7月(土地総面積37,246.92㎡ 建物総面積2,353.56㎡)

組合員数 18社

住 所 長野県諏訪市大字中洲字三ツ俣5709-14

「不動産鑑定業務に係る提携」について

不動産鑑定業務について、株式会社コスモシステムと平成30年5月より提携いたしました。

不動産鑑定評価は売買、担保評価、事業承継等様々な場面が必要になると思われまますので、是非、ご活用下さいますようお願い申し上げます。
 お問い合わせは「商団連会員サポートセンター」までお願いいたします。

「消費税軽減税率普及事業に係る講習会」の実施について

2019年10月1日より消費税が10%に引き上げられ軽減税率制度が導入される予定です。

消費税軽減税率制度については、関係省庁(経済産業省、国税庁、中小企業庁)が連携して円滑な実施に向けた取組を推進しており、当連合会にも協力依頼がきております。

消費税軽減税率制度は対象品目を扱わない事業者を含め全ての事業者に影響がありますので、消費税軽減税率制度の内容を多くの皆様にご理解いただくために講習会の実施をお願い申し上げます。

商団連グループ保険(会社掛)のご案内



職員や従業員の万一の時に備えたいが・・・

しかし、あまり費用がかけられない・・・

そんなお悩みの事業者のみなさんへ商団連グループ保険がぴったりです。



パンフレット、お問い合わせは、各組合事務局または商団連事務局(03-3591-1251)までお問い合わせ下さい。

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階
 TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

受託幹事会社 住友生命保険相互会社

手厚い保障

病气死亡・高度障害、不慮の事故による死亡・高度障害
 不慮の事故による障害・入院まで幅広く保障

加入資格

組合職員並びに会員組合員企業の役員・従業員の方々で健康な方であれば、告知のみで申込みできます。医師の診査も必要ありません。

手頃な掛金

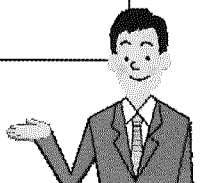
例) 40歳男性が保険金額100万円にご加入の場合
 ひと月の掛金は282円

掛金の扱い

掛金は、会社負担となり福利厚生費として全額損金に算入できます。

※他にも商団連独自の見舞金制度もあります。

ご加入年齢	病气死亡・高度障害保険金
15歳～70歳	100万円～1,000万円



「事業承継サミット開催」のお知らせ

平成30年10月に事業承継サミットが開催されますので、ご都合がよろしければ是非ご参加下さいますようお願いいたします。

事業承継サミットの概要(案)

1. 目的

- ・事業承継の重要性についての認識を深める機会
- ・事業承継支援機関間の一層の連携推進(オールジャパンで事業承継を推進)
- ・中小企業・小規模事業の経営者への気づきの機会の提供
- ・事業承継支援策の拡充を図るための結束、政策提言 等

2. 日時

平成30年10月29日(月) 13:00~17:00

3. 場所、参加者数

サ・プリンスパークタワー東京、3,000人

4. 主催・共催

経済産業省・中小企業庁

日本商工会議所青年部(YEG)、全国商工会連合会青年部(IMPULSE)、全国中小企業団体中央会青年部(UBA)、公益社団法人日本青年会議所(JC)

5. 内容

(1) 第一部

- ①主催者挨拶(大臣)
- ②来賓祝辞
- ③出席者紹介
- ④後継者候補となる団体青年部代表挨拶
- ⑤後継者世代による決意表明と国、自治体への政策提言

(2) 第二部

- ①基調講演
- ②承継に成功した著名経営者による講演
- ③パネルディスカッション

(3) 同時開催(協賛セミナーあり)

- ①セミナー(税理士等)
- ②セミナー(弁護士等)
- ③セミナー(民間コンサル)
- ④セミナー(中小機構)

(4) 同時開催

- ①協賛社によるブース出展
- ②事業承継、経営相談コーナー

この度の西日本豪雨(平成30年7月豪雨)で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

商団連グループ保険(ファミリープラン)のご案内

お手頃な掛金で病気死亡、不慮の事故による障害、入院にいたるまで幅広く保障

組合職員並びに会員組合員企業の役員・従業員の方々と、そのご家族で健康な方であれば、告知のみで申込みできます。医師の診査も必要ありません。

商団連独自の「見舞金制度」もあります。

ご家族のために「あと少しの保障がほしい!」とお考えの方におすすしめします。



ご加入例 病気死亡・高度障害保険金200万円の場合

保障内容	病気死亡・高度障害200万円
	不慮の事故による死亡・高度障害300万円
	不慮の事故による障害最高70万円
	不慮の事故による入院1,500円(1日につき)

ご本人さま40歳	配偶者さま40歳	お子さま10歳	お子さま8歳	ご家族合計
564円	481円	310円	310円	1,665円

パンフレット、お問い合わせは、各組合事務局または商団連事務局(03-3591-1251)までお問い合わせ下さい。

全国卸商業団地企業年金基金

平成29年度収支状況のご報告

平成29年度決算(平成29年3月1日～平成30年2月28日の年金経理収支状況)

収 入	(単位:百万円)	支 出	(単位:百万円)
掛金収入	1,121	老齢給付費	378
厚年基金からの受換金等	753	脱退一時金	605
運用収益	17	遺族給付費	23
業務会計からの受入金	20	業務委託費等	43
		責任準備金増加額	128
		当年度剰余金	734
合 計	1,911	合 計	1,911

平成29年度の剰余金は、7億円となりました。前年度までの13億円と合わせ、平成29年度末の累計の剰余金は、20億円となりました。なお、決算は平成30年6月26日開催の第5回代議員会で承認されました。また、各組合員企業には、8月発送予定の基金だよりでお知らせいたします。

新規加入を随時受付しています

全国卸商業団地企業年金基金は、平成28年3月1日に設立した企業年金制度です。

組合員企業の従業員の福利厚生や退職金の事前準備の手段として活用することができます。

当基金に加入していない組合員企業の新規加入について、随時ご相談を受付けております。

また、他の厚生年金基金の解散に伴う残余財産分配金を持ち込むことも可能です。

ぜひ、加入のご検討をお願いいたします。

当企業年金基金が設立してから、新規に加入した企業が12社、従業員615名の皆様が新たにご参加いただいております。

お問合せ 全国卸商業団地企業年金基金 TEL 03-3560-7017 FAX 03-3560-3054
〒107-0052 東京都港区赤坂5-1-31 第6セイコービル4階

住友生命からのご案内

住友生命では組合員企業様の福利厚生制度向上のために、さまざまな提案をさせていただいております。

・ 商団連グループ保険のご案内

従業員様の弔慰金制度の財源を割安な掛金で準備できます。ぜひお見積りをご依頼ください。

・ 健康チェックイベントのご案内

住友生命では健康増進活動の一環として血管年齢測定などの健康チェックイベントを実施しております。ぜひ一度実施ください。

・ 各種セミナーのご案内

「若手従業員様向けライフプランセミナー」「50歳代従業員様向けのセカンドライフセミナー」「経営者様向けの相続対策セミナー」等を講師料無料で行っております。ぜひお気軽にご依頼ください。

お申込み・お問い合わせは商団連事務局（担当吉澤：03-6807-4335）または住友生命（担当寺田：03-5550-9884）までご連絡ください。

創業110周年記念社会貢献事業「スミセイ“Vitality Action”」

「たいせつな人とカラダを動かそう！」をコンセプトに、「文書の重要な部分を引用して読者の注意を引いたり、このスペースを使って注目ポイントを強調したりしましょう。このテキストボックスは、ドラッグしてページ上の好きな場所に配置できます。」健康増進をテーマとした社会貢献事業として「スミセイ“Vitality Action”」を実施しています。全国各地にて様々な種目のトップアスリートを講師に迎え、親子スポーツイベントを開催しています。親子一緒に運動することで、健康増進を図るとともに、家族の絆も深めていただくきっかけとしていただければと考えています。イベント開催情報については、ホームページにて順次お知らせいたします。 詳細は [スミセイ“Vitality Action”](#) 検索



「事務所の移転」について

商団連は50年近く港区虎ノ門に事務所を構えておりましたが、3月に港区赤坂に移転しました。新事務所は、関係団体である「全国卸商業団地企業年金基金」と同一のビル内で、同じフロアで事業を開始しております。

全国基金と連携した「全国卸商業団地総合事務所」として、会員のサポートを行うとともに、福利厚生事業として、商団連グループ保険による保障と企業年金による年金の二つの制度により、会員企業の皆様の在職中と退職後をカバーすることとしておりますので、是非とも双方の制度をご活用いただければと思っております。

住所 〒107-0052

東京都港区赤坂5-1-31

第6セイコービル4階

TEL 03-6807-4335

FAX 03-6807-4336

